

研究プロジェクト助成

研究企画委員長 伊藤 裕康

日本教材学会では、広く教材学や教育学がより充実したものとなるよう資金助成を行います。

1. 応募資格（援助対象者）

申請代表者及び研究分担者は会員に限られます。また、2名以上の会員によって構成されるものでなければなりません。なお、応募件数の上限は1会員につき各年1件とします。

2. 募集期間

2024年10月8日～2024年12月末日

3. 援助金額

1プロジェクトにつき10万円を上限とします（総額40万円を予定）。

4. 応募方法

応募希望者は、「研究計画書」を本学会HPよりダウンロードして、必要事項を記入し、期日までに学会事務局にファイルをメールで送付してください。送付ファイルは、WordファイルとPDFファイルの2つをお送りください。ファイル名には、研究代表者の氏名を使ってください。

5. 審査基準

① 研究課題の学術性・有用性

- ・教材学に資するものであるか、あるいは学校等教育現場での教材研究の発展に寄与するものであるか。
- ・テーマに関連する研究動向と本研究の位置づけは明確であるか。

② 研究目的、研究方法の妥当性

- ・研究目的が明確であり、その研究目的を達成するため、研究方法等は具体的かつ適切であるか。
- また、研究経費は研究計画と整合性がとれたものとなっているか。

③ 研究遂行能力及び研究環境の適切性

- ・これまでの研究活動等から見て、研究計画に対する十分な遂行能力を有しているか。

④ 研究課題の波及効果

- ・本研究課題による成果は、どのような教材学の発展、学校等教育現場への波及効果が期待できるか。

6. 選考方法と選考結果の連絡

- ・本学会の研究企画委員会が応募内容を審査し、2023年2月に開かれる理事会の承認を経て、文書で選考結果をお知らせする予定です。

- 選考にあたり、必要に応じてヒヤリングさせていただくことがあります。
- 助成金額が申請金額を下回った場合、予算の見直しをお願いすることがあります。

7. 助成後の報告について（以下の3点にご同意下さい）。

- ① 研究の成果あるいは途中経過を、当該年度の研究大会の研究プロジェクト部会において発表して下さい。
- ② 採用年度の末日までに、事務局に「研究成果報告書」と「会計報告書」を提出して下さい（様式等は別途連絡します）。「研究成果報告書」は、研究プロジェクト助成の研究成果報告として学会誌に掲載いたしますので、『教材学研究』執筆要項にのっとり、8頁以内でまとめてください。なお、これは、後日研究成果報告書をまとめ直して、教材学研究に論文等として投稿することを妨げるものではありません。なお、次年度も本助成金に応募する場合は、その際に前年度の研究報告書類も合わせてご提出下さい。
- ③ 研究成果を発表する場合には、本助成金を受けていることを明示して下さい。
* 随時進捗状況をヒヤリングさせていただくことがありますのでご了承ください。

8. その他注意点

提出いただいた書類は返却いたしませんのでご注意ください。

提出いただいた「研究計画書」に記載の個人情報、本要項に記載の用途を除き、当助成金制度の選考以外には使用いたしません。

本補助金の原資は学会員から支払われた会費になります。ご執行の際には、その点をお忘れにならないようお願い致します。

<問い合わせ・送付先>

日本教材学会 事務局

〒162-0813 東京都新宿区横寺町 64-2 エデュイン神楽坂

kyozai-gakkai@nit.or.jp